



～学校評価アンケート～

保護者の皆様には学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。結果を項目ごとに集計し、教職員で分析、考察を行いました。子どもたちにより良い学習習慣や生活習慣を身に付けられるように、今後学校では、家庭、地域との連携を深めながら、次のような取組を行っていきます。(字が小さくて申し訳ありません。)

○真に必要な情報を発信し、家庭や地域と連携を深め、児童の健全な成長を支援します。

- ・各種たよりやWebページでの情報発信、タブレットを活用した情報提供などを行いながら、保護者の理解を得る。
- ・コロナ感染状況を見据えながら、時期を考慮した体験活動やオンラインを活用した学びの実践等、家庭・地域と連携を図りながら、人材活用や地域活動を行う。

○全教職員が授業改善に努め、ICT等を活用したり目的等を明らかにしたりして、児童が分かると感じたり達成感を感じたりするように、保護者と連携を図って学力向上を目指します。

- ・ICT等を効果的に活用し、児童が「分かる」と感じて学習を継続していけるよう授業改善を継続していく。
- ・英語の学習では、活動の目的・場面・状況を明確にすることにより、達成感を感じられるような活動をする。
- ・家庭学習や読書時間の確保に向けて、他の児童の学習方法や成果を校内掲示等で紹介・称賛をしたり、保護者と連携し、学校図書館を活用して家庭読書を啓発したりしていく。

○温かい人間関係が築ける児童を育てるとともに、その取組を発信していきます。

- ・保護者や地域の方に自分から進んで挨拶ができるよう、学級活動等を通して意識付けしていくとともに、教職員がお手本となるように実践していく。
- ・日々の児童の言動をよく観察し、児童からのSOSを見逃さないようにする。
- ・挨拶運動や温かな人間関係づくりに取り組んでいる様子などをホームページや学校通信、学年通信等で保護者や地域の方に伝えていく。

○家庭と連携し、規則正しい生活や体力向上に努めます。

- ・各種便りや掲示物・集会等での呼びかけ、学級懇談会等による保護者への情報提供と啓発を行う。
- ・養護教諭や栄養士と連携し、学級活動・保健・家庭科等の授業を活用した基本的生活習慣の徹底を図る。

○教職員の危機管理能力向上を図り、家庭や地域と連携・協力し、児童の安全確保に努めます。

- ・防犯、防災避難訓練、交通安全教室、交通講話などを年間行事として位置づけ、全職員で児童の安全意識と危機管理意識の高揚を図る。
- ・教職員や保護者による計画的な交通指導や青色防犯パトロール等での巡回により、児童の安全確保を図るとともに、迅速な情報発信をすることなどで地域安全の啓発を促進する。
- ・定期的及び臨時的な校外児童会を活用した通学班登校や登下校の安全指導を充実させる。

○家庭で子どもの将来につながる親子での関わり合いの機会が増えるように、授業などを工夫したり、家庭に情報発信したりします。

- ・道徳(例：夢に向かって努力することについて考える)や学級活動(例：新たな職業を知る)の授業を通して学んだことを生かして、夢カードに必要事項を記入させる。その様子などを、通信などで保護者に伝達をする。
- ・夏休みや冬休みに頑張ったことを家庭や学校で振り返る機会を設け、その後の生活につなげていけるようにする。

○『自立・挑戦・感謝』ができる児童育成のため、教職員の資質・向上を図ります。

- ・児童支援委員会、ケース会議、Q-U(楽しい学校生活を送るためのアンケート)等を活用し、児童理解に関わる共通理解を深めていく。
- ・校内研修、メンター研修を効率的・計画的に実施し、授業改善や指導力向上を目指す。
- ・信頼される学校づくりのため、教職員の規律確保研修を継続的に実施していく。

